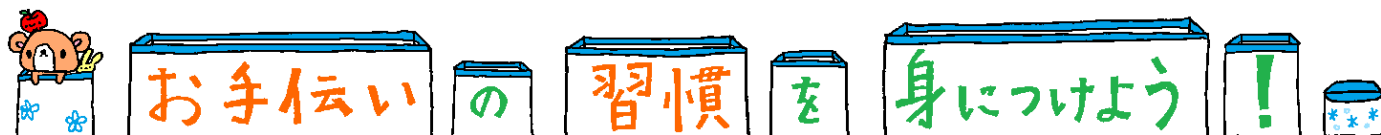




新しい1年が始まりましたね。平成30年は、どんな1年になるのでしょうか。
みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
今年もよろしくお願ひします。



冬休みに、お手伝いに取り組んだお子さんも多いのではないのでしょうか。昨年度も掲載しましたが、お手伝いは、「生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ第一歩」です。何歳でも、できるお手伝いはあります。お子さんの成長段階に合わせて、小さいころから少しずつ、親子でお手伝いに挑戦しましょう。

大きくなってから始めても大丈夫!!

お手伝いのポイント

- ♡ 簡単なことから始めて、たくさんほめて、できることを増やしていきましょう。
- ♡ お手伝いできたときには、感謝の言葉をそえてほめましょう。
- ♡ 時間と気持ちに余裕があるときに、お手伝いのやり方を丁寧に教えましょう。
- ♡ できるようになったことは、任せましょう。

やる気を奪わない
言い方が大切です。

大人同士でも
ポイントは
同じです。



うまくできず、自分でやったほうが早い^①と、
イライラすることもあると思います。何事も初めから
うまくできる人はいません。繰り返し行うことで、
段々、上手になっていきますし、任せられるように
なったら、家事が楽になりますよ。責任感や
自己肯定感など、お手伝いの効果は様々言わ
れていますし、親子のコミュニケーションの場にもなります。
できることから始めてみましょう。

私は、お手伝いから逃げていたため、家事が
ほとんどできず、親元を離れたときに苦労しました。
家族のありがたみを感じながら、ちゃんと
やっておくべきだったと後悔の日々でした。
家事は、男関係なく、できないよりは、
できたほうが良いです。



そもそも家事って。。。②

- 家事と聞くと、火事・洗濯・掃除がイメージしやすいですが、家庭生活を営む
ための全ての仕事家事です。トイレトーパーの
補充、宅配便の受取り、落ちているゴミの片付け、
実家とのやり取り等、「名もなき家事」がたくさん
あります。これらが、妻の家事負担を増加させて
いると、昨年話題になっていました。
- 家族全員で、「名もなき家事」をシェアすること
によって、この負担が軽減されるのではないかと、
調査した企業さんが提案しています。みなさんも、
この考えを取り入れてみてはいかがでしょうか。
誰かが家事を行ったら、「ありがとう」を忘れずに。

HAPPY VALENTINE'S DAY

家事のシェアについて、家族全員が、
「自分のものは自分でしよう。自分が出したものを
自分でしよう」を心がけるだけでも、負担が
軽くなるかもしれません。……と、言っ
てみたものの、私は片付けが大の苦手。
今年こそ、がんばります。

次号は今年度最終号。2/20発行予定です。



雪の朝 小荒る大人と はぐ便り



家庭教育情報通信「はぐ便り」2018年1月号(通号第52号)

平成30年1月22日発行

発行者・問い合わせ先: 盛岡市教育委員会生涯学習課

住所 〒020-8532 盛岡市津志田 14-37-2

TEL 019-639-9046(直通) FAX 019-639-1516

メール edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

●バックナンバーは市のホームページで見ることができます。